

第65群 悪性腫瘍 VIII (377~382)

377. 婦人科悪性腫瘍における腫瘍マーカー, CA125, TPA, CEA, Ferritin, SP₁, SP₃同時測定の有用性と限界

(千葉市立病院)

太田 順子, 武田 祥子, 加藤 喜市

婦人科良性ならびに悪性疾患において血中 CA125, TPA, CEA, ferritin, SP₁, SP₃ 値を同時測定し, 腫瘍マーカーとしての有用性と限界について検討するとともに, 組織内局在を検索し, 産生部位についても検討を加え, 若干の知見を得たので報告する. 対象は, 良性卵巣疾患65例, 子宮筋腫23例, 悪性卵巣腫瘍62例, 子宮内膜癌21例, 子宮頸癌34例で, 血中値は市販 RIA kit にて, 組織内局在は immunoglobulin peroxidase bridge 法ならびに Aridin-Biotin 法により検索した. その結果, 治療前血中高値率が高かつたのは, 漿液性卵巣腺癌では CA125, TPA, SP₃, 粘液性卵巣腺癌では CEA, SP₃, 悪性卵巣腫瘍全体では CA125, TPA, SP₃, 子宮内膜癌では TPA であつたが, 子宮頸癌ではいずれも低く, これら6種の腫瘍マーカーは子宮頸癌の screening には不十分であることが示唆された. 良性疾患における高値率は CA125, SP₁, SP₃ で20~24%と高く, これらは比較的偽陽性率の高いマーカーであると考えられた. 悪性疾患の臨床進行期 (FIGO) と血中高値率との関係では, TPA, ferritin, SP₃ で進行期に従つて高値率の上昇する傾向がみられた. I 期症例での血中高値率は, SP₃ が58%, CA125及び TPA が38%で, これらの腫瘍マーカーの早期診断における有用性が示唆された. 6種の腫瘍マーカーの同時測定では, 悪性卵巣腫瘍で SP₃, CA125, TPA, 子宮内膜癌では TPA, SP₃, 子宮頸癌では SP₃, TPA が高い高値率を示したが, 全体の21%は偽陰性となつた. 腫瘍マーカーの各種組み合わせによる治療前血中高値率の比較では, 悪性卵巣腫瘍では CA125/TPA/CEA による79%が, CA125/TPA/SP₃ で89%, 子宮内膜癌では, CA125/TPA/CEA による71%が SP₃, ferritin を加えた5者で79%, 同様にして子宮頸癌では47%が68%, 悪性腫瘍全体では65%が79%まで上昇した. また, CA125は漿液性卵巣腺癌において, 組織内局在と血中高値率との間に高い相関が認められたが, 一方良性疾患の血中高値例ではその局在が認められなかつた.

質問

(三重大) 植松 有門

早期診断に有用と思われたということですが, Tumor size との相関性はいかがか.

回答 (千葉市立病院) 太田 順子

Tumor size と tumor marker level との関係については今回検討していない.

追加 (千葉大) 稲葉 憲之

腫瘍 size と血中腫瘍マーカー値との相関について明確な臨床 data はまだ報告されていないが, 参考までに Bast の SLO における CA125の結果をあげる.

tumor size	CA125 35u/ml 以上 (%)
0	14
≤0.5cm	28
0.5~1.0cm	80
≥1.0cm	100

378. 婦人科悪性腫瘍における CA125の臨床的ならびに基礎的検討—CA 19-9との比較を含めて—

(慈恵医大)

木村 英三, 村江 正始, 中林 豊
楠原 浩二, 安田 允, 寺島 芳輝
蜂屋 祥一

婦人科悪性腫瘍における CA125, CA19-9の臨床的有用性について検討し, 卵巣漿液性嚢胞腺癌培養株 (JOHS) を用いて CA125産生に関する基礎的検討を加えた. なお CA125及び CA19-9の測定には Centocor 社製 RIA Kit を用いた. 血中 CA 125値及び陽性率 [%] (Cut off 値: 35u/ml) は健常男性 (n=50) 7.3±5.5U/ml [0%], 健常女性 (n=80) 14.2±12.2u/ml [3.8%] で有意差 (p<0.001) を認めた. 各疾患では子宮筋腫 (n=74) 24.4±27.5u/ml [16.2%], 子宮内膜症 (n=18) 54.6±45.2u/ml [55.6%], 良性卵巣腫瘍 (n=73) 38.4±52.1u/ml [24.7%], 悪性卵巣腫瘍 (n=47) 1,266.6±3,537.2u/ml [89.4%], 子宮頸癌 (n=36) 30.5±87.3u/ml [11.1%], 子宮体癌 (n=12) 35.8±36.5u/ml [33.3%] であつた. 悪性卵巣腫瘍で高く, 特に漿液性嚢胞腺癌, 進行癌で高値を示した. また子宮内膜症で陽性例が多いことが判明した. 腹水, 嚢腫液中では血中 CA125値の5~20倍を示し, 妊婦血清 (n=124) では妊娠2~3カ月で60%の陽性率を示し, 10~11カ月で39%と若干陽性率が高かつた. 臍帯血 (n=45) では2.2%であつた. 血中 CA19-9 値及び陽性率 (Cut off 値: 37u/ml) は良性卵巣腫瘍 (n=68)